

当院の催吐リスクに応じた制吐療法の基本薬剤

**<高度催吐性リスク>** 90%を超える患者に発現する

- ① アプレピタントCap 125mg (day1)、80mg (day2-3)
- ② パロノセトロン点滴静注0.75mg (day1)
- ③ デキサート注6.6mg 1.5V (9.9mg) (day1)
- ④ デカドロン錠4mg 2錠1× (day2-4)

**<中等度催吐性リスク；標準>** 30～90%の患者に発現する

- ① グラニセトロン静注液1mg (day1)
- ② デキサート注6.6mg 1V (day1)
- ③ デカドロン錠4mg 2錠1× (day2-3)

**<中等度催吐性リスク；特定薬剤>** 30～90%の患者に発現する

※特定薬剤：カルボプラチン、イホスファミド、イリノテカン、メトトレキサート

- ① アプレピタントCap 125mg (day1)、80mg (day2-3)
- ② グラニセトロン静注液1mg (day1)
- ③ デキサート注6.6mg 0.5V (3.3mg) (day1)

**<軽度催吐性リスク>** 10～30%の患者に発現する

- ① デキサート注6.6mg 1V (day1)

**<最小度催吐性リスク>** 発現しても10%未満である

※予防的な制吐療法は実施しない